

# 国内IGF活動活発化のための組織立ち上げ・たたき台

2022/01/24 JPNIC前村

1/11会合の議論を基に、組織立ち上げ要領のたたき台を作ってみました。具体的なイメージを俎上に上げることで、問題点のあぶりだしなどで議論を進めて行きたいと思っています。

## 1. 組織の目的

- 国内IGF活動の活発化、啓発、アウトリーチ活動
- 年次会合、報告会、事前会合の開催
- これらの活動を進める上で、各ステークホルダーからの中立を保つための機構維持
- NRIとしての認知とその維持を行う

## 2. 設立発起人

- 発足する組織の発足を望み、呼びかけを行う者
  - 現在活発化チーム会合にレギュラーに参加しているインターネット関連団体 (JAIPA、JPNIC、CFIEC)
  - その他、発起人からの参画が望まれると考えられ、声掛けに応じていただける団体 (iaJapan、)
  - 各ステークホルダーセグメントが揃い踏むことが重要か
- 永続的な資金拠出のコミットメントを頂く

## 3. 会員

- 組織の目的に賛同し、会費の拠出によって活動を支える団体や企業
- 「働きかけリスト」の団体を中心に広く声をかける
  - 設立発起人は自分のステークホルダーセグメントに関する働きかけを主導しては  
いかがか
- 会員総会によって理事を選出する

(加藤) ICANNだと会員総会はない。

## 4. 理事会

- 総会から委ねられ、事務局の組織運営を監督する
- 各ステークホルダーセグメントから一人？

## 5. コーカス

- 現在の活発化チーム。オープンでボトムアップな検討はコーカスで続行する
  - 新組織とコーカスとの間の関係になんらか定義が必要か

## 6. 活動と予算の規模感

- 今後複数パタン・規模の概算を作って検討を進める

## コメント

- (加藤) 法的な関係を明確にした方が良い。ICANNは加州非営利法人。
- (本田) 資金拠出していること と 活動をする ことは切り離れた方が良い。「多く出してるから多く口を出す」にするべきではない。ロビー団体ではない。インターネットプレイヤーとしての各個人が見過ごされるべきではない。個人会員もありかもしれない。
- (上村) 個人会員で組織するべきではないか。EuroDIGは個人が会員、理事も個人、法人はdonerとして。コーカスと組織の関係を逆転させるべきではないか。事務局組織、お膳立て組織であれば法人会員だけでもいい。ディズニーランドの来場者ではない。
  - (前村) JANOGならちょっと近いか(ミーティング運営などお金がかかるところは協賛で賄う)
- (堀田) お金を持ってきている人は組織運営に関与しないと成立しない。協賛のモチベーションは2つ: サブスタンスである活動に賛同する + サブスタンスに対するインプットや意見聴取を行う 3000万円なりが永続的に拠出できるのか
- (前村) JANOGは技術商材の企業が協賛する意義がとても大きい。IGF活動でそのような意義の訴求は難しい
-